

『幸せの青い花』プロジェクト

暑い日が毎日続いて、青い花の生育が危ぶまれましたが、皆の祈るような思いと優しい水のおかげで何とか花壇に植えることができるまでに成長しました。

今年は、花の移植に先立ち、和泉新理事のご好意により放課後等デイサービス・ビスコーサに立派な花壇が完成しました。長年の願いだっただ花壇にやっと青い花を生き生きと咲き誇らせることができるのです。

7月5日、午前9時より6名の参加者と作業員3名の方々と移植作業を始めました。朝方に降っていた雨も止み、あまり暑くない中での作業となり、無事に移植を終えることができました。そして、7月7日に青い花に水やりをしているとポツンと1つ花が咲いていました。次の日、また1つポツンと咲きました。このように『幸せの青い花』は、どんな状況になろうとも私たちに裏切らないのだと思いました。

7月11日には、反対側の花壇に、まだ生育が十分でなかった苗を移植しました。急な作業日の決定で皆さんに連絡はできませんでしたが、藤原、近両理事が頑張ってください、無事に終えることができました。また当日は、移植作業の前に藤原理事のご主人が、草刈り機を使って施設周辺の除草していただき、その後、移植にもお手伝いいただきました。本当に感謝申し上げます。

私どもの団体も新体制となり、頼もしい協力者を得て、花壇の『幸せの青い花』もますます生き生きと花を咲かせてきました。こうして自発的にこのプロジェクトにかかわり、参加協力してくださる会員の方々を長い間心待ちにしておりました。そして、今それが少しずつ実現しつつあるようで大変うれしく思います。

9月には、本プロジェクトの第一歩として、秋田市のきらり支援学校にプランターの花とともに「幸せの香り」を届けることができればよいなと思っております。

今年の異常な暑さの中で花を枯らさずに育てるということは大変なことでした。ひとえに朝晩の水やりに協力いただいた皆さんのお陰と深くお礼申し上げます。



7月、新しい花壇に移植しました



8月、晴天の下たくさんの花が咲いています